

小鹿野町公式ご当地キャラクターが決定しました



小鹿野町公式ご当地キャラクターデザイン募集につきましては、小鹿野町をはじめ、全国からたくさんのご応募をいただき、応募総数は189作品にもなりました。誠にありがとうございました。

ご応募いただいた189作品の中から、選考委員の厳

正な審査のもと、入選作品を5作品まで絞り込み、町内の小・中学生や幼稚園・保育所(園)の子どもたちによる投票を行いました。その結果、小鹿野町に在住経験のある群馬県の山下様からの応募作品「おがニャッピー」が最優秀賞に選ばれました。

■最優秀賞 『おがニャッピー』

その他の入選者は次のとおりです。

- 優秀賞 新潟県 小林様
- 特別賞 東京都 永井様
- 東京都 新井様
- 徳島県 坂野様

最優秀賞に選ばれた「おがニャッピー」には、今後、小鹿野町公式ご当地キャラクターとして、情報の発信やイベントへの参加をしてもらいます。

応援よろしくお祈りします。

問合せ ● 小鹿野庁舎・総合政策課 ☎75-1238

小鹿野町空き公共施設利活用町民ワークショップ 参加者募集

町では、空き公共施設の利活用について、町民の皆さんから様々な意見やアイデアをいただくため、町民主体のワークショップを開催します。

なお、子育て世代の皆さんも参加しやすいようお子さんを預かる一時保育室も開設しますので奮ってご参加ください。

ワークショップ対象施設

- 旧三田川中学校
- 旧長若中学校
- 両神保育所

※両神保育所は、認定こども園への移行に伴い、令和2年3月31日をもって閉所となることから対象としました。

メインテーマ ● 『町の将来と空き公共施設の利活用』

メインテーマについて、町で設定した個別テーマや意見交換の中でワークショップを行います。

- テーマ① 旧三田川中学校の利活用について
- テーマ② 旧長若中学校の利活用について
- テーマ③ 両神保育所の利活用について

内容

- 全体会議(参加者全員)

町の将来と空き公共施設の現状や課題

- グループ討議(グループに分かれて意見交換)

対象施設ごとの現状と利活用について意見交換

日時 ● 1月18日(土)、2月1日(土)、15日(土)

いずれも13:30~16:30

場所 ● 小鹿野庁舎・第1会議室

募集人員 ● 5人(応募者多数の場合は抽選により決定します。)

なお、参加者については、各世代、性別、職業など幅広く求める必要があるため、公募による参加者のほか、様々なカテゴリーの団体からの推薦者を含め、ワークショップを行います。

応募資格 ● 町内在住又は在勤、在学している人で、全3回継続して参加できる人

※ワークショップ参加に伴う報酬、旅費などの支給はありません。

募集期間 ● 12月2日(月)~10日(火)

申込&問合せ ● 参加申込書に必要事項を記入のうえ、持参・郵送・FAX・メールのいずれかの方法で提出してください。なお、参加申込書は返却しません。

※参加申込書は、小鹿野庁舎・総務課 まちづくり推進室にあります。また、町ホームページからもダウンロードできます。

小鹿野庁舎・総務課 まちづくり推進室

☎26-6581 FAX 75-2819

メール somu@town.ogano.lg.jp

ワークショップとは…

参加者全員がお互いに教えあったり、学びあったり、意見交換をしながら話し合う方法のことです。



今年5月に小鹿野町と包括連携協定を締結した埼玉県立小鹿野高校。これまでも、小鹿野高校は地域を盛り上げる活動を数多く行っており、町民の皆さんもそんな高校生たちを様々な形で支えてきました。高校と地域が協力し合う、そんな関係をより深めるために、町と高校は『小鹿野高校魅力化プロジェクト』を立ち上げました。現在の活動を発信していくとともに、さらなる魅力化も応援していきます。その進捗を定期的に広報でもご案内する予定です。

さて、地域の協力を得て活躍している取組の中に、生

徒会の「竹あかりプロジェクト」があります。10月19~20日には、国民宿舎両神荘にて、東洋大学、立教大学の学生たちと一緒に竹あかりを製作し、芝生広場をライトアップするイベントを開催しました。高校生が大学生の前でプロジェクトの経緯を説明し、大学生たちと今後の小鹿野町をテーマに意見交換会も行いました。また、(株)モンベルに生徒会メンバーがプレゼンしたことで、テントの無料提供も受けられました。

この活動に励んだ生徒たちは、何を感じているのでしょうか。感想を聞きました。

今回の活動で良かったこと・次に活かしたいこと

■ 岩田 涼さん(2年・副会長)

モンベル・東洋大・立教大・小鹿野町・小鹿野高校が協力して、大規模なイベントを開催できたところが良かった。大学生とは、最初会話が続かなかったが、作業を通して徐々に仲良くなれた。大学生のデザインは発想が斬新で、とても素敵なのが完成した。また、モンベルさんにテントを3張お借りし、テントと「竹あかり」が融合したことで幻想的な空間となった。私たちにあって、また良い経験となった。今後も頑張っていきたい。

■ 柳井愛美さん(1年・書記)

初めてプレゼンを行ってみて、活動内容や手順を相手に言葉や文章で伝えることは、非常に難しいと感じた。また、「竹あかり」を指導する立場になってみて、教えることの難しさも学ぶことができた。イベントを重ねるたびに、これらが上達するよう頑張っていきたい。また、小鹿野高校の生徒でも「竹あかり」を知らない人がいるので、もっとたくさんの方にその凄さや大変さを知ってもらいたい。

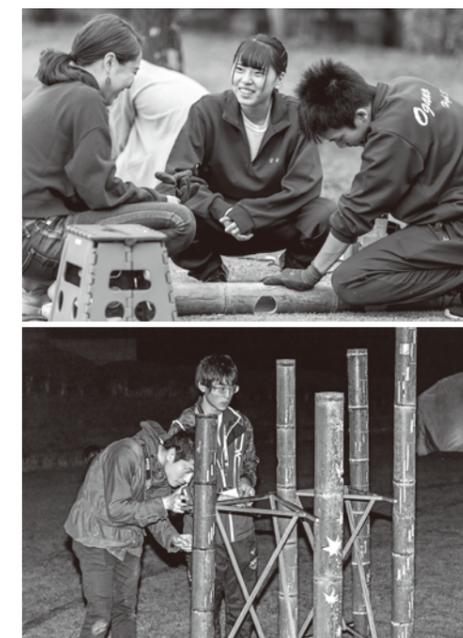
モンベルへのプレゼンや大学生との連携で感じたこと

■ 黒沢心愛さん(2年・会長)

今回、初めて企業の方を前にプレゼンし、普通の高校生では味わえない緊張感を感じることができ、素晴らしい経験をさせていただいた。モンベルという素晴らしい企業と連携させていただくことで、テントと「竹あかり」という新しい取組が実現したし、HPやツイッターなどで呼びかけていただいたおかげで、たくさんの方に「竹あかり」を知ってもらえた。これからもどんどん「竹あかり」を発展させていきたい。

■ 出浦一輝さん(2年・会計)

初めて、大学生と意見交換会を行い、まず引き出しの多さに驚いた。また、大学生が小鹿野町について行った調査結果を聞いて、小鹿野町の良いところや悪いところが具体的に分かりやすく、凄いなと思った。同時に、外から見られる小鹿野の魅力と中から見える魅力が違うということも分かった。今回の意見交換会で私たち生徒会は、中から見ている小鹿野の魅力を外に向けて発信していく必要があると思った。



写真提供 設案 伶司 氏

それぞれ学ぶものは大きかったようです。高校生も町も一緒に元気になる素晴らしい取組の1つではないでしょうか。町民の皆さんも、活動を見かけた際は、ぜひ、頑張っている高校生たちに「綺麗だったよ」「今度はいつやるの?」など、声を掛けてみてあげてください。

問合せ ● 小鹿野庁舎・総合政策課 ☎75-1238
(小鹿野高校魅力化プロジェクト)